

高退協文芸

詩

「聖寿の万歳」

西村雅人

天皇の即位を祝う「国民祭典」が
テレビ中継されていた
人気アイドルグループが奉祝曲を歌い
華やかなステージだった

テレビをつけたまま
新聞を読んでいると
「天皇陛下万歳」を連呼する
異様な声が居間に響きはじめた

テレビ画面をうめつくす観客と
無数の日の丸の小旗
いつまでも続く絶叫のような万歳の発声
わたしは胸が苦しくなった

司会者は万歳のことを
「聖寿の万歳」と呼んでいた
調べてみると

天皇の長寿を祈念する万歳のことらしい
気味の悪い万歳の声を聞きながら
学徒出陣の記録映像を思い出した

一九四三年十月二十一日の朝
明治神宮外苑競技場で
雨にぬれながら数万人の若者たちが
学生服に小銃を担いで行進していた

死地の戦場へ向かう学徒兵たちを前にして
戦争責任者・東条英機は声を張りあげた
「諸君とともに聖寿の万歳を
心の底から三喝したいと思えます」

テレビ中継された不気味な万歳
巧妙に仕組んだ卑怯な煽動

俳句

花蘇鉄の四季

小澤 幸泉

九月九日
重陽や友一人逝く置き去りに
つるし柿ゆっくりりひとつまたひとつ

敬老の日ニユース孤老の死を伝え

一匹の秋刀魚分け合う夕の膳

七五三二人の孫の晴れ姿

川柳

帆傘集

小澤幸泉

なんとなく生きております眼が覚める
名優の舞台仕事に惚れ直す

温暖化少女のノイジーが届かない

泣きながらエンピツ削りまた削る

純行で歩む夫が頼もしい

嫁いでもまだおっぱいをくれと言う

熱弁が空しく消える冬の空

九十歳これで最後と新車買おう

短歌

若い力

叶風淑子

だれひとり取り残さない県政へ希望抱いたマツケンの風
今すぐに気候正義をと声あげる十六歳のグレタ・トゥンベリさん

「阪石炭」掲げ日本の若者モデモ行進のCOP25
(国連気候変動枠組条約第25回締約国会議)

待降節

田上悦子

金色のいちよう季を終え電飾が代わりて灯る師走の街に
クリスマスカードが届くドイツより猫の短歌への感謝を添えて
待降節となるカード見つめしばし戸惑うその使い方

希望

山本品子

いじめにも還わず元気に生きている孫三人みて帰り来たりぬ
「おばあちゃんはお家の良心」と男孫言う思い出しおり機上にありて
「良心を持ち続けよ」と書きしるす二十歳の男孫へのバースデーカードに
(埼玉の次女の義母)



素晴らしい女性パフォーマンス

望年会・芸能祭！ 楽しいひととき



事務局のマツケンサンバ

語り

